

主題：アブラハム、イサク、ヤコブの神

メッセージ 14

ヤコブの神 (4)

神によって造り変えられて、神の家のための柱を建てる者となる

聖書：啓 3:12. 列王上 7:13-14. 歴代下 2:13-14. エペソ 4:8, 11-12, 16

- I. 聖書の「主要路線」は神の建造です。神は宇宙でただ一つの事を行なっています——神は彼の永遠の住まいを建造しています——マタイ 16:18。
- II. わたしたちは、神がわたしたちを神の中の柱にしてくださいに祈る必要があります。それは、わたしたちが神の建造のための柱を建てる者となるためです——啓 3:12. 21:22 :
- A. わたしたちはますます輝いて、輝きの頂点に達し、彼と彼の出現を愛する必要があります——箴 4:18. II テモテ 4:8. 士 5:31。
 - B. わたしたちは団体の召会生活のために自分をささげ、神にある造り変えのためにその中に生きて、すべての兄弟を愛し、兄弟たちのために自分の生活を投げ出す必要があります——創 35:7. 啓 3:8, 12. I ヨハネ 3:16。
 - C. わたしたちは神のあわれみに依り頼み、人をあわれむ必要があります——マタイ 5:7. 18:33。
 - D. わたしたちはすべてに十分な神としての彼を享受し、人を供給する必要があります——ピリピ 1:19-25。
 - E. わたしたちは彼の牧養を享受し、人を牧養する必要があります——ヨハネ 21:15-17。
 - F. わたしたちは彼の御顔を見つめ、彼を人の中に映す必要があります——II コリント 3:18. 4:1。
 - G. わたしたちは彼の測りなわと裁きの下にいて、罪を対処する命としての彼を人に供給する必要があります——エゼキエル 40:3. 47:1-6. 詩 139:23-24. レビ 10:17, ノート 1。
 - H. わたしたちは混乱した複雑な状況のただ中で神に信頼する単純で純粋な生活をして、命の恵みを人の中にあふれ流れさせる必要があります——II コリント 1:12. ピリピ 1:20. ヨハネ 7:37-39。
- III. 柱を建てる者であるヒラムは、新約における賜物のある人の予表であり、聖徒たちを成就してキリストのからだを建造させます——列王上 7:13-14. 歴代下 2:13-14. エペソ 4:8, 11-12, 16 :
- A. ヒラムの母はダンの娘の女でした——歴代下 2:14 :
 - 1. ダンの部族は偶像礼拝の部族であり、神の民をつまづかせて神の道から墮落させました——創 49:17. 士 18:30-31。
 - 2. ヒラムの母がダンからであったという事実は、ヒラムの起源がすべての人のように、罪からであったことを示します——詩 51:5. 参照, ヨハネ 8:44 前半. ローマ 7:18。
 - B. ヒラムの父はツロ人でした——列王上 7:14 :
 - 1. ツロは商業で知られた異邦人の町でした。ですから、それはサタンと一でした——エゼキエル 28:12, 16。
 - 2. ヒラムの父は、青銅を細工することでのヒラムの技術の源でした——列王上 7:14。
 - C. ヒラムはナフタリ部族と一つになりました—— 14 節 :

1. ナフタリは復活の部族、造り変えの部族です——「ナフタリは放たれた雌じかで、
／美しい言葉を語る」——創 49:21 :
 - a. 雌じかは、復活したキリストの中で生きて、必死の状況のただ中で神に信頼し、
神を喜ぶ人を表徴します——ヘブル 3:17-18. II コリント 1:8-9. 詩第 22 篇—タ
イトル. 第 142 篇。
 - b. 神に信頼する人は、キリストの復活の力の中で、山を飛び越え丘を飛び跳ねる
キリストと一であり、すべての困難と障害に打ち勝ちます——ハバクク 3:19.
雅 2:8-9. 8:14。
 2. ナフタリが語る美しい言葉とは、命の言葉(使徒 5:20), 恵みの言葉(14:3), 救い
の言葉(13:26), 知恵の言葉(I コリント 12:8), 建造の言葉です(使徒 20:32)。
 3. 神の建造の一部となり、その建造にあずかるためには、キリストの復活の中で再
生され造り変えられることによって、「ダンの部族」から移され、「ツロの町」
から断ち切られて、「ナフタリの部族」に入る必要があります——I ペテロ 1:3.
I コリント 15:45 後半. II コリント 3:18。
- D. ヒラムの父は死に、ダン人の母はやもめになりました——列王上 7:14 :
1. これは、召会、神の住まいの建造のために神にとって有益になるために、世俗の
学びと技術を習得する必要があっても、これらの事の源である「ツロ人」の父を
死なせなければならないことを表徴します。
 2. さらに、わたしたちの生存の源を表徴する「ダン人」の母は「やもめ」になり、
この世の源から分離されなければなりません。わたしたちは「ナフタリ部族」、
造り変えの部族の者とならなければなりません——ガラテヤ 2:20。
 3. こうして、わたしたちは、すでに断ち切られた源なしに、学びと技術を習得し続
けます。わたしたちの人の生存(母)はもはや、この世の起源と結び付いていま
せん。わたしたちは復活の中にあります——参照、マタイ 18:3. 歴代下 1:10. I コ
リント 3:10. 使徒 7:22-25. 22:3, 25-28. 参照、ヨハネ 19:20。
 4. 「ツロ人」の父が死ななければならず、「母」が生き続けなければならないこと
は、わたしたちが主に、神の建造のために有益な長寿を与えてくださるよう
に求めるべきであることを意味します——詩 91:14-16. 92:14. I コリント 6:18-20. 9:27.
10:31. ペリピ 1:20. ローマ 12:1-2。
 5. もしわたしたちの「ツロ人」の父がまだ生きているなら、わたしたちはサタンの
世におり、天然の命にいて、「ツロ人」の技術は神の宮の建造に役立たなくなり
ます。わたしたちは自分を訓練して、わたしたちの存在、生活、奉仕のあらゆる
部分において、復活の中にいなければなりません——参照、I コリント 3:12。
- E. ヒラムがナフタリ部族に移ったことは奥義的であり、あらゆるクリスチャンの歴史
の部分が奥義的であるべきことを啓示します——ヨハネ 3:8。
- F. ヒラムはツロから、エルサレムにいるソロモン王の所に連れてこられました(列王
上 7:13-14)。そこは、召会を表徴する宮が建てられる場所でした :
1. キリストを予表する今日のソロモン(マタイ 12:42)も、神の現在の建造も、召会
の中にあります。
 2. こうして、神の建造のために有用になるために、わたしたちは世俗の技術を習得
し、復活の中で生き、召会の立場である正しい立場に来なければなりません。
- G. 主の必要に応じるために、わたしたちみな主に祈り、こう言わなければなりません、
「主よ、あなたの建造のために、わたしを柱にし、柱を建てる者にしてください」。